

第2回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 平成24年7月3日（火） 15:00～17:00

【場所】 北別館4階 第1会議室

【出席者】 検討委員会委員 19人（欠席1人）
教育委員会事務局 6人

【傍聴者】 1人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 委嘱状交付

1人に委員委嘱。

3 議題

(1) 第1回大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について
修正等はなく了承。

(※ 情報公開センター及び市ホームページでの公表資料とする。)

(2) 大牟田市における学校再編整備の取組み経過について

発言者	発言内容
委員長	20人の委員中、11人は初めて学校再編の協議に参加していますので、前回の流れを含めてこれまでの通学区域審議会の流れを事務局から簡潔に説明をお願いします。
事務局	資料2（大牟田市立学校 学校再編整備の取組経過）について）を基に、学校再編整備の取組み経過を説明。
委員長	基本構想、基本計画、実施計画を受けて、今年から検討委員会ができたということです。 何かお尋ねしたいことはございませんか。
委員	学校再編により、すばらしい効果が得られていることと思います。三里・三川、諏訪・川尻の再編時の学習交流、部活、生徒会活動、野外活動など地域や子ども達へのサポートについて教えていただきたいです。
事務局	学校再編に伴い、様々な検討事項があるので、再編校の教職員、PTA役員、地域代表の方々により再編の2年前に学校再編協議会を設置して、校名、校歌・校章の作成、PTAの再編などを進めています。 また、大牟田市では小学校区単位で地域コミュニティを形成しているため、小学校再編に応じ、地域の再編についても平行して地域再編の検討委員会を立ち上げて地域の再編を進めています。 再編校の交流事業として、合同の社会科見学などを実施し、子ども達が円滑に馴染めるよう交流事業を進めながら取り組んでいます。地域によって実情が異なりますので、PTA役員、地域役員、学校関係者から意見を出し合い、課題を解決しながら進めています。
委員長	平成の地方自治体の大合併で、年間約260校の学校が減ったそうです。平成9年、文部科学省は小規模化した学校の複式学級を弾力的に運用す

	<p>るため小規模特認校制度をつくりました。</p> <p>荒尾、みやま、南関などあちこちで学校再編が進んでいます。学校再編の際、いかに子どもたちがスムーズにいくかが1番課題で、通学区域審議会でも議論されてきました。</p> <p>続いて、前回の検討委員会で作成を依頼していました資料の説明をお願いします。</p>
事務局	資料3（アンケート自由意見）から資料5（類似団体における小中学校の学校数、学級数、児童生徒数）を説明。
事務局	資料6（小学校の「地区割り」について）を説明。
委員長	<p>アンケートの自由意見についてはそれぞれ意見があります。学校規模、学校配置を具体的に論議する場で活用することがあると思いますので、再度確認をお願いします。</p> <p>学校沿革を見ると、1番古い学校は、三池小学校の明治5年で140年の歴史があります。中学校の中には戦前の学校を引き継いだものもあります。</p> <p>類似団体の資料、5地区割りも、今後の検討の参考資料にさせていただきたいと思います。</p> <p>私の方で、これからの具体的な学校再編の進め方のたたき台を作成しましたので、事務局で配布をお願いします。</p>
委員	資料99ページで、福岡県の飯塚市が大牟田と似たような産業構造ですが、飯塚市の人口はあまり減っていないと思います。大牟田は20万人まで人口が増えたが、がたっと減りました。飯塚市が最盛期と今現在とどういう変遷をしているのか、また、大牟田は小学校の合併が行われていますが、飯塚にも学校の合併があったのか。1番身近なので、その辺を調査していただきたいです。
事務局	飯塚市は平成の大合併の際に市町村合併がなされ、人口が13万人台です。市町村合併をされたところは、学校を再編するのも苦労されているようで、飯塚市は現在、公共施設の整備計画の観点と併せて学校の再編計画を策定している。人口が1番ピーク時からの状況等については、次回の検討委員会でご説明します。
委員	合併前の状況から今の状況までの説明をお願いします。
委員長	他にないですか。
全委員	なし。

(3) 協議の進め方について

発言者	発言内容
委員長	<p>それでは、検討委員会の進め方のたたき台を皆さんに諮りたいと思います。最初から小学校を何校、中学校を何校にするというのではなくて、小学校をどうするか、中学校をどうするか基本的な考え方を持って、それをお互い理解しながら、具体的な方法としてどういうやり方をするのかという進め方を提案したいと思います。</p> <p>まず1つめは適正規模の考え方。アンケートでも様々な意見が出ていま</p>

	<p>すが、小学校も中学校もクラスが何学級あった方がいいかということが出てくると思います。そして、具体的な学校の配置です。特に配置を考える上でメインになるのは、通学距離ではないかと思います。文部科学省が義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令で、適正な通学距離を小学校は4km以内、中学校は6km以内と規定していますが、それをそのまま大牟田の基準にする必要はないと思います。通学距離の中で出てくるのが、通学路の問題です。現在天道と笹原小学校の再編で天の原小学校の開校準備が進められていますが、過去に死亡事故も発生しているため、通学路の整備については一生懸命考えられています。国土交通省は、通学路は1日児童が40人以上通行するとしています。合併または小規模になった場合は、それは守られません。</p> <p>それらを押さえて、どのような再編の仕方があるのか、後から提示したいと思います。これまでの再編では、三里・三川小学校の2校をみなと小学校に、諏訪・川尻小学校を天領小学校に再編しています。上官と大牟田小学校、天道と笹原小学校も、2校を1校に再編されます。ところが、中学校は3校を1校にするやり方です。全国では他の方法でも実施されています。そして、第1回検討委員会で出ました小中一貫校はどうあるべきかという論議を深め、具体的な再編の計画の検討に入りたいということで、検討会議の進め方の資料を提示していますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>大牟田小学校は、今年で創立30周年を迎え、また2、3年後に合併の話が出てきます。先ほど10年のスパンと言われましたが、例えば、みなと小学校と天領小学校の合併の話が20年以内に現実味を帯びてくる可能性もあるかもしれません。10年後でいいのかどうかということも含めて議論が必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>検討委員会で諮問を受けたのが、第二次実施計画が終了する平成27年度以降の10年後ぐらいを見据えてとなっているが、大牟田小学校では現実に2つめの再編の問題が起きてきます。中学校も合併の仕方によっては小学校と中学校の2回の再編を経験する子どもがいるかもしれません。検討委員会ではそうしたことも念頭において、検討する必要があります。</p> <p>大牟田小学校では、「またか」という意見がありますか。</p>
委員	<p>上官小学校と大牟田小学校は、10年くらい前に1回目の再編案が出ていましたので比較的落ち着いているようです。しかし、右京・船津・延命中学校の方が一緒になるのは、なかなかハードルが高い雰囲気があるようです。</p>
委員長	<p>大牟田小学校と上官小学校の再編時期と、船津・右京・延命中学校の再編の時期が重ならないように考えて、通学区域審議会から答申してあります。</p> <p>他に意見はございませんか。</p>
全委員	<p>意見なし。</p>

(4) 市立学校の適正な規模について

- ・ 学校規模によるメリット・デメリット
- ・ 大牟田市立中学校部活動状況

発言者	発言内容
委員長	適正規模の考え方に入ります。論議に入る前に、学校規模のメリット・デメリット、の資料について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料7（学校規模によるメリット・デメリット）、資料8大牟田市立中学校部活動状況を基に説明。 ※ 学校教育課の主査から大牟田の現状について、口頭で補足説明。
委員長	大規模校、小規模校それぞれによい点、悪い点があり、一概にどちらがいいとは言えません。しかし、あまりにも大きくなってはいけない、あまりにも小さくなってはいけないので、どのくらいが1番いいのかということが出てきます。中学校の場合は、野球、ブラスバンドをしたいけれども、進学する中学校には部活がないということが、子ども達の周りにたくさんあるのではないのでしょうか。子ども達の要求を満足する部活動を設置するのも、教育の一環かもしれません。現実打破として数校で一緒に練習試合をしたり部活動をしたり、チームをつくって対外試合に出たりすることも実際にあります。適正な学級数について、今から論議したいと思います。
委員長	〇〇委員、銀水小学校は17学級で、大牟田では規模の大きい方ですね。大牟田での適正規模はどのくらいがいいと考えられますか。
委員	子どもが通学する学校は大規模校に入りますが、大規模校だから先生が目が届かないという感じはしません。 ただ、大規模だと、地区リレーの選手決めなどに非常に苦勞するという話を聞きます。 どれくらいが適正かははっきりとは言いにくい。小規模校は経験していないので、その意見を参考にしていただいて、検討委員会で適正規模を出していただければと思います。私自身は、教育環境が1番だと思います。 資料を見ると、廃部になった部がたくさんあるので、実際に部活をしたくてもできない現状は悲しい現実だと思いますので、子どもが安心して教育を受けられるかということが1番だと思います。
委員長	教師の目は学校規模の大小で、規模が大きいから先生が目が届かないということではなく、先生方の気持ちも1つの大きな要素であるとおっしゃっているようです。 もうひとつ、教育環境は行政がつくるものなので、あまり小さくても大きくてもだめということをおっしゃっています。 〇〇委員、勝立中学校は6学級ですが、中学校の実態からどうですか。
委員	勝立中学校は1学年50人弱で、1学年2学級、1クラス25人前後でゆっくり先生の手が届き、先生の話も聞けるようになってきたという感想を持っています。 勝立中学校に進学する玉川、笹原、天道小学校も児童が少なく、1学年1学級でやっと20人程度です。 上の子どもは小学校のとき1学年13人で、男子2人、女子11人で6年間過ごしました。運動会では男子が女子に負けていました。13人では

	<p>サッカーの相手チームもできず、バスケットでは交代要員なく練習していました。</p> <p>子どもの成長過程では競争心が必要かと思うので、大規模校ほど多くの人数がという要望は持っていませんが、ある程度の体育の授業ができるくらいの人数を確保していただいたほうが、体育の授業等に差支えがないのではないかと感じています。</p>
委員長	<p>中学校では、ある程度の規模があったほうが良いとおっしゃっています。大規模校とはいかなくても、中規模校くらいということでしょうか。</p> <p>小学校4年生までは35人学級編制なので、1学年36人だと18人ずつの2クラスになります。</p> <p>中学校では、1学年40人と40人で2クラス、20人と21人でも同じ2クラスになります。生徒が80人と41人は同じ学級数です。</p> <p>それから、子どもが好きな部活がないから、隣の学校と一緒に練習試合をするということもあります。親の立場からすると、子どもがちゃんと帰宅するのか、交通事故の問題とか、いろんな問題があると思います。</p> <p>〇〇委員、小学校・中学校の学級数、規模について何かございませんか。</p>
委員	<p>大規模校、小規模校をそれぞれ希望する人がそれぞれいらっしゃると思うので、それを1つのセットにするという考え方はかなり無理があると感じています。例えば、そこに通学したいと思えば、遠くでも私学のように通うと思います。</p> <p>学校の枠をこのくらいと考えると、これから先かなり無理があるのかなとずっと思っていました。</p> <p>小学校でミニバスケットをしていたある子どもが、コーチをしている先生がいる中学校に進学しようと思って越境か何かで入学をしたときに、その先生が転出されてしまったが、その学校に行くしかなかったということを知ったことがあります。</p> <p>例えば、この部活をするのであればこの学校というように、学校に特色を持たせれば、規模の大小というよりその学校に行きたいという選択肢をどれだけつくる中で、みんなを包括していけるかということがポイントになるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>大規模校を望む保護者、小さい規模を望む保護者、どちらもいるでしょうね。子どもも同じです。そうすると学校自由選択で、校区はないほうがよいですね。</p>
委員	<p>ただ、大牟田の学校を全て選択制にしてしまうといろんな歪みも出てくるでしょうから、例えばブロック制に分けるという方法はあるのかなと思っています。</p>
委員長	<p>東京の品川区では、最初に学校選択制を導入しましたが、失敗しました。</p> <p>なぜかという、人気のある学校に生徒が集まり、不人気の学校は生徒が少なく、問題が起きてうまくいきませんでした。クラブの顧問の先生がいる学校に行きたいという問題も絡んできますね。</p>
委員	<p>杉並区では方法を変えて、ある程度の越境枠をつくったという話も出ていますから、だんだん慣らされていく環境はたくさん出てきたのではないのでしょうか。</p>

委員長	例えば大牟田で5地区に分けて学級編制をするといった方法ですが、今度は学級編制が大変ですね。高いハードルをクリアしないとうまくいきません。
委員	それと、地域コミュニティの問題もあります。
委員長	前回、小学校は中学校のように無理して再編する必要はないという意見が2、3人の方から、地域のボランティア活動も含めて出ていました。〇〇委員何かご意見はありませんか。
委員	<p>子どもが幼稚園に入園するときに、いくつかの園を見学して、親の意見で決めました。小学校は住んでいる校区で倉永小学校でしたが、のんびりして落ち着いていて、保護者同士も顔見知りでした。</p> <p>中学校は甘木中学校で、手鎌小学校と一緒にるので大所帯で1クラス37～38人と多く、誰が誰か分からない感じもしていました。しかし、学校規模の大小ではなく、子ども自身も親自身もどれくらい自分で学校に溶け込み馴染んでいくかが大切ではないかと思うようになりました。どれくらいの規模がいいのかというのは、はっきりとは分かりませんが、廃部になった部があるということも聞きますので、中学校はある程度の規模がないといけないのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>前回の検討委員会が出た意見と同じで、中学校はある程度の規模がほしいということですね。小学校はそれほど考えないということですね。</p> <p>〇〇委員、手鎌小学校は市内で1番大きい学校ですか。</p>
委員	<p>17学級です。教育委員会の事務局職員が言われたように、担任の先生だけでは算数の授業に付いていけない子どもがたまにいるので、2人の先生で教えていただいたりしているので、ある程度の子どもの数がいたほうがいいのかと思います。</p> <p>一方、私はわくわく広場という地域ボランティアの責任者をしていますが、見守る大人が少ない中で多くの子が遊びに来ていて、目が届かない点も若干あります。</p> <p>多いか少ないか、皆さんいろんな意見があり一概には言えないし、1クラスの人数の問題も出てくると思います。あまり多すぎると全体に目が行き届いているのかという問題が出てくるし、あまり少ないと体育の授業の問題もあるので、正確には何クラスとは答えられませんが、ある程度の人数がいるクラスが1番良いのではないかと思います。</p>
委員長	<p>例えば、学年に2、3学級がいいという決め方は無理かもしれませんね。理想を決めてどこの学校も合わせるということではなく、基本的な考え方に幅を持たせて考える必要があるというようなことをこれまでに発言された委員の皆さんはおっしゃっています。</p> <p>あまり大きくなっても、小さくなっても駄目ということです。また、教師の力が大きく作用します。また、子どもと親の協力関係、地域の取り組み方など、いろいろ関係があると思います。</p> <p>〇〇委員、連協で学校規模について話し合われることがありますか。</p>
委員	5月8日が連協の第1回会議で、学校の適正規模等については話したことはありませんが、上内小学校の児童は47名で、今年から小規模特認校

	<p>になりました。何回か授業参観を見ましたが、1年生は6名で、1学級10名以下の児童数では、全員の子どもに手を挙げて発表させるなど目が行き届いた授業をされています。しかし、ライバル意識がなかなか見えず、みんながこの人が1番と決めているように感じます。少人数で1番問題なのは、やはり競争心だと思います。平均学力のレベルはかなり高いと聞いていますが、授業を見ると子ども達が1つのグループになって、〇〇さんが1番といった感じです。</p> <p>しかしながら、大規模校は経験していませんので、大規模校のメリット・デメリットは分かりません。</p>
委員長	<p>上内小の運動会などを何度か見ましたが、地域の方と子ども達がタイアップしていい雰囲気だなあと感じます。しかし、競争心がなく、序列がずっとあるという意見が出ました。そこに競争心を入れて競争させるのも適正規模の要因のひとつではないでしょうか。</p> <p>民生委員の観点から、〇〇委員をお願いします。</p>
委員	<p>基本的には、文科省が示している40人が基本です。1クラスしかできない小学校は、最小で240人必要です。1人の増減で、クラス数が変わってくるというボーダーのところの決め方が非常に難しくなるのではないのでしょうか。中規模をどう先行して設定するのかということをやっているといけなと思います。</p> <p>10年後は大規模も中規模に縮小します。中学校の場合は、適正規模校の右京・船津・延命の再編校だけで、全部小規模校になります。</p> <p>小学校区を決めて中学校区に組み合わせるのは、非常に難しいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>適正な学校規模としては、学級数はクラス替えができる範囲から中規模ぐらいまでが良いのではないのでしょうか。</p> <p>第1読解の中では、学校規模は12～18学級くらいで一応押さえておいて、学校配置、通学距離、交通安全、合併の仕方の問題で、第2読解をするということでもよろしいのでしょうか。小学校も中学校も12学級は必要、最大18学級で収まる学校規模ということでもよろしいですか。</p>
委員	<p>保育園には現在、弱さを持った子ども達がたくさんいて、保育園の4、5歳の最低基準が30対1になっています。私が勤務する保育園は90人定員なので、年長は20人前後のクラス定員ですが、15～20人が話を聞ける雰囲気です。</p> <p>今の子ども達は、みんなに言っていることを自分のことのように受け止められない弱さを持った子ども達が増えています。小学校の低学年までは、人間とのコミュニケーションができる力を育てなければならないと思います。</p> <p>小学校低学年までは、1クラスの人数を少なくして先生が丁寧に声を掛け、子ども自身が大事にされているということを感じられるように育てなければならないと思います。小学校低学年を過ぎたら、切磋琢磨して大人数でも逞しく育つのではないのでしょうか。小学校に関しては、歴史があり、それぞれの地域に根ざした在り様があるのではないかと思います。大牟田のまちを守り育てていくという、地域とのコミュニケーションがとても大事だと思うので、慎重に適正化を考えなければならないと思います。</p> <p>また、大牟田のまちに若い人たちが来て子育てでしやすい、安心して過</p>

	<p>ごせるまちになったらいいなと考えています。</p>
委員長	<p>子どもの発達段階で、一概に小学校1年生と6年生を同じレベルで考えるのはおかしいという意見ですね。それはそうですね。だから、大牟田市では小学校1年から4年までを35人学級にしています。</p> <p>もう1つは、子ども達は地域の子どもであるということと併せて、社会の子どもであるという捉え方をしなければならないということをおっしゃっているようです。また、学校は地域に根ざしたということをおっしゃっています。</p> <p>そういうことで、小学校と中学校で違い一概には言えませんが、学校規模は大体12から18学級で押さえておきましょう。</p>
委員	<p>右京・船津・延命中学校3校の再編が生きているならば、それを参考に中学校を検討し、その後小学校を検討することになるのではないのでしょうか。中学校は500人規模が適切なのか、400人規模が適切なのか。資料では、現在は市の南部の児童生徒数が減少していますが、今後10年で市の北部の児童生徒数が大きく減少します。中学校を決めた後に小学校を決めるといいのではないのでしょうか。</p> <p>クラスは、大体12から18学級くらいではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>学校規模は、小学校は1学年2から3クラス、中学校は1学年4から6クラス、全校12から18学級で一応考えてみます。</p>

(5) 市立学校の適切な配置について

発言者	発言内容
委員長	<p>次に学校配置を論議します。次回に再確認を行います。</p> <p>通学距離は、文部科学省が小学校は4km以内、中学校は6km以内と規定していますが、それよりも短い距離で考える必要があると考えます。</p>
委員	<p>参考までに、お尋ねします。類似団体の資料がありますが、大牟田は面積81.55k㎡で小学校22校で、どのくらいの通学距離なのか。伊勢市の面積は208k㎡で大牟田の倍以上あり小学校は25校なので、通学距離は大牟田よりも遠いのではないかと想像できます。また、筑紫野市は87.78k㎡で大牟田とほぼ同じ面積で11校です。通学距離の対比が分かれば、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>学校の配置図（第1回検討委員会資料）の拡大図を示しながら、資料9の最長通学距離、資料10の自転車通学の状況、1つの小学校から複数の中学校に分かれて進学している状況について説明。</p> <p>※他市の通学距離については、次回の検討委員会に分かる範囲で示す。 ※複数の中学校に分かれて進学する小学校（4校）</p> <p>三池小 → 田隈中・歴木中 銀水小 → 橘中・田隈中 天道小 → 勝立中・米生中 笹原小 → 勝立中・米生中（一部）</p>
委員長	<p>文部科学省が定めている小学校は4km以内、中学校は6km以内を参考に</p>

	<p>しながらも、大牟田市はそれよりも短い距離がよいでしょうね。文部科学省は、全国各地の地理等で通学距離を規定していますが、大牟田ではどのくらいの距離がよいでしょうか。通学路によって変わってくる可能性もありますね。</p>
委員	<p>文科省が、小学校の通学距離について4 km以内を基準にしていますが、例えば明治校区から4 kmは黒崎までです。</p> <p>大牟田市はおそらく南北8～9 kmくらいで、市の中心地から4 km以内というのは、大牟田市内全部が当てはまるような距離ですが、大人が毎日4 kmを歩いて通勤するのは不可能です。中学生にはある程度自転車通学を認めて、学校数を縮小するのも1つの選択肢になってくると思います。あくまでも、4 kmというのは遠すぎると思います。</p>
委員長	<p>学校配置をどうするかということを論議していますので、例えば、2校を一緒にしたときに遠くなる地域について、第1回の検討委員会では、あまり遠いところはスクールバスといった意見も出ていました。</p> <p>学校規模同様、通学距離についてもある程度は決めたがよいと思いますが、距離は不要ですか。</p>
全委員	<p>距離は必要です。</p>
委員長	<p>距離が必要ならば、論議が必要ですが、文部科学省が定めている小学校4 km、中学校6 kmは遠すぎるので、もう少し短くしましょうというご意見です。</p>
委員	<p>小学校の保護者、先生のアンケートでは、2 km、3 kmの回答が結構多い。ところが、中学校は荷物が重い、部活動で遅くなるから2 km以内という回答が多く、小学校が中学校より距離が長くなっていいはずなのに、小学校と中学校の回答が逆転している。保護者、先生のほとんどの方は2 km以内ではないでしょうか。</p>
委員長	<p>小学校は通学距離が短いほうがよいという感覚ですが、子ども達の実態は違います。中学校の部活のために、多くの保護者が朝早くに子どもを車で送迎しています。</p> <p>スクールバスは、市の財政でできる、できないという問題があります。福岡県の小郡市は自治会バスがあり、1週間に1回、地域住民を病院、買い物に乗せていて、市から50万円の補助金が出ています。そのバスを子ども達の通学にスクールバスに利用しようという動きがあります。</p>
委員	<p>筑後市の下妻小学校では、小規模特認校制度で通学している13人の児童をコミュニティバスで送迎しています。</p>
委員長	<p>今日の段階では、文部科学省の規定の小学校4 km、中学校6 kmよりも短い範囲で、仮に小学校3 km、中学校6 kmとしておきましょう。</p>

(6) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	<p>どういう再編の手法があるか、今から資料を配布しますので、自宅でご覧ください。今まで、大牟田市では4の手法で再編してきましたが、小中</p>

	<p>一貫校のやり方など、いろんなスタイルが全国で行われています。</p> <p>次回、基本的な考え方をベースに、どう学校を考えていくか、学校規模、学校配置、学校再編の手法等を参考にしながら、具体的に検討していきたいと思います。</p>
--	--

(7) その他

発言者	発言内容
委員長	その他で何かございませんか。
事務局	<p>次回の検討委員会に必要な資料があれば、準備させていただきます。</p> <p>検討委員会は、第3回を7月下旬に、第4回を8月に開催させていただきたいと思います。第3回、第4回をまとめて日程調整後、検討委員会の開催について通知します。</p> <p>次回に必要な資料はございませんか。</p>
委員長	飯塚市、三重県伊勢市の資料をお願いします。
事務局	併せて、類似団体の通学距離の資料を準備します。
委員長	他になければこれで終了します。

4 閉会